

平成18年度JCI 四国支部第2回拡大幹事会議事録

日時：平成18年11月16日（木）15：00～17：00

場所：香川大学工学部安全システム建設工学科会議室

出席：堺支部長、橋本、氏家、島、安藤、横井

欠席：熊沢、古田、吉良、竹下

配布資料

- 1-1 JCI 四国支部平成18年度第2回拡大幹事会次第
- 1-2 H18年度JCI 四国支部第1回拡大幹事会議事録(案)
- 1-3 JCI 四国支部平成18年度活動状況及び今後の予定
- 1-4-1 第1回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事録（案）
- 1-4-2 「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」委員名簿
- 1-5 「平成18年度JCI 中国・四国支部共催コンクリート学セミナー」開催 案内書
- 1-6 生コンセミナーin高知 案内書
- 1-7 『コンクリート構造物の非破壊検査技術の昨日・今日・明日』に関する講習会案内書
- 1-8 JCI 四国支部現場見学会開催の案内書および報告書
- 1-9 H18年度JCI 四国支部 役員一覧
- 1-10 1月13日付JCI事務局吾子紘さんよりのメール
- 1-11 JCI 四国支部役員名簿一覧（H18年11月16日現在）

審議事項

1. 会長挨拶

堺支部長より拡大幹事会議の開催にあたり、挨拶が行われた。

2. 平成18年度JCI 四国支部第1回拡大幹事会議事録(案)の確認

資料1-2に基づいて、堺支部長より、平成18年度JCI 四国支部第1回拡大幹事会議事録について説明がなされ、承認された。

3. JCI 四国支部平成18年度活動状況及び今後の予定の確認

資料1-3に基づいて、以下の審議がなされた。

- (1) 「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」について

- ・ 資料１－３に基づいて、橋本幹事より委員会の具体的な活動内容や研究項目等について、また10/24(火)に開催された第一回委員会の活動状況について、報告がなされた。
- ・ 第２回委員会は、フライアッシュ産出個所である四国電力西条発電所の見学会と合わせて、その周辺施設で開催する予定である。時期は１～２月上旬で調整する。
- ・ 今後も委員会活動を活発に行うよう要請された。

(２)講演会

①「平成１８年度 J C I 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナー」

- ・ 資料１－５に基づき、橋本幹事より講演会の大まかな内容について説明があった。
- ・ 中国・四国共同でこれからもセミナーを行っていくことを確認した。
- ・ セミナーの参加者数、また四国からの参加者数を確認し、横井常任委員が J C I 四国支部のホームページに追加することになった。

②「生コンセミナー in 高知」

- ・ 横井常任委員より、H19年１月２６日高知で開催される生コンセミナーについて説明がなされた。
- ・ 橋本幹事より、セミナーの運営を担当する地域の生コンの方に謝礼を出してもよいのでは、という提案があり、必要に応じて実施することとなった。
- ・ 案内は J C I の四国支部の会員にダイレクトメールを送る。
- ・ 四国コンクリート技術懇話会が共催し、会場費、謝礼、交通費等の一部を懇話会が負担することとなった。

③「平成１８年度 J C I 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナー in 愛媛」

- ・ JCI 四国支部主催、四国コンクリート技術懇話会共催で、来年１～３月に行う。
- ・ 氏家幹事が準備をすることとなった。

(３)講習会

①「コンクリート構造物の非破壊検査技術の昨日・今日・明日」に関する講習会

- ・ 橋本常任委員より説明があった。

②「コンクリート構造物の環境側面」に関する講習会

- ・ 堺支部長より、来年３月までに愛媛大学にて開催される、中国・四国支部共催のコンクリート工学セミナーと連携し、講演会として行なうのはどうかという提案がなされ、上記③が追加された。
- ・ 四国コンクリート技術懇話会が共催し、会場費、謝礼、交通費等の一部を懇話会が負担することとなった。

(４)コンクリート教育への助成

- ・ 前年度、高知県立宿毛工業高等学校の根口百代教諭を代表に支給することが決定していたため、根口教諭の転任先である高知県立高知工業高等学校へ１０万円の助成金を支給した。
- ・ 来年度は未定である。

（５）現場見学会

- ・安藤常任委員より説明がなされた。

４．四国コンクリート技術懇話会との連携

J C I 主催の講演会は四国コンクリート技術懇話会が共催で行い、会場費、謝礼、交通費の一部を負担する。また案内のダイレクトメールは J C I と同懇話会の両方の宛名で郵送し、それぞれ J C I と同懇話会で費用を分担する。

５．平成 2 0 年度コンクリート診断士試験

平成 2 0 年度から高松でも診断士試験が開催されるよう事務局に申請することとなった。

６．ホームページ運営

横井常任委員より、現在のホームページのアクセス数が一日につき 10～20 件程あり、徐々に増加しているとの報告があり、更に内容を充実させていくこととなった。

７．会員増強

堺支部長より、資料 1-10・1-11 を用いて現在の会員数について説明があり、会員数を増強するよう指摘があった。その方法として、以下のことを実施することとなった。

- （１） 全国生コンクリート工業組合連合会 四国地区本部（本部長：松永雪夫）を通じてより多くの法人入会を依頼する。
- （２） 四国コンクリート技術懇話会会員へダイレクトメールを郵送する際に、入会案内を同封する。
- （３） 高知県生コンクリート工業会へ団体会員としての入会を、島幹事から依頼する。
- （４） 1 1 月 2 6 日実施の J C I 技士試験の際、入会申込書を配布する。
- （５） その他、J C I 四国支部の幹事・役員は広く入会を勧誘する努力をする。

８．その他

特になし。

以上